顧客を守る!

▶顧客の生活を支える

レジリエンスに特化した商品やサービスをつくる

この取組のポイント

015

社会変化にあわせた、雷対策製品・サービスの開発

✓ 雷に対するノウハウを軸に、継続的に新たな製品・サービスを開発

取組主体	従業員数	想定災害	実施地域
株式会社日辰電機製作所	50名	雷	埼玉県

昭和 14 年創業の日辰電機製作所は、時代の変化に対応しつつ、雷災害への対応力強化につながる事業を展開している。

1 取組の特徴(特色、はじめたきっかけ、狙い、工夫した点、苦労した点)

雷防護に特化した事業展開

• 日辰電機製作所は、昭和 21 年には日本電信電話公社(現:日本電信電話株式会社)の指定メーカーとなるなど、長年にわたり保安器の製造・販売を行ってきた。保安器とは、落雷等により電話回線に過剰な電圧・電流が加わった際に、接地線へその異常電流を流し込む機器であり、電話機や端末機器が被害を受けることを防止するものである。こうした技術をベースに同社では昭和 34 年には炭素避雷器の製造を開始し、日本電信電話公社に採用されるなど、雷に関わる分野に特化しつつ業務の拡大を図ってきた。現在では、商用電源や CATV、ケーブル等に対応した雷防護製品の開発・製造・販売を行っている。

事業環境の変化にあわせた新たな雷対策ニーズを掘り起こし

• 同社の主力製品の一つである保安器は電線の防御には必要とされる一方、電気を通さない光ケーブルにおいては 雷防御のための設置は不要となる。光通信の普及を見すえ同社ではこれまで培った技術を生かし、雷探知警報器 の開発・普及にも取り組んでいる。雷雲が発生した際には素早い避難が求められるとともに、国内のあらゆる場所で 被害が生じる可能性があるという雷の特徴を踏まえ、誰でも、どこでも使用できる携帯型の雷探知機を同社は開 発した。同製品は、雷が放電した際に発生する電磁波をとらえて、雷の距離や大きさを判断する。雷情報を危険レ ベルに応じて 3 段階のアラームと LED 表示で知らせる。雷が遠ざかるにつれ、警報段階も下がっていくため、行動 再開の判断材料とすることができる。この開発により、同社製品のユーザーのすそ野を広げることにもつながっている。

2 取組の平時における利活用の状況

• 同社では自社製品の普及に加え、これまでに蓄積したノウハウの社会還元を行うべく、雷害リスクの研究者が情報発信等を行う「日本雷保護システム工業会」及び「雷害リスク低減コンソーシアム」に参画している。また、平成 26年には「雷・ノイズコンサル室」を設置し、携帯通信キャリア、学校法人、自動車メーカー等に対して、雷害対策に対するコンサルティング業務や機器等の耐災害力向上への助言等を実施している。

3 現状の課題・今後の展開等

• 気候変動に伴い、学校等において落雷事故も多発する傾向にあり、雷雲の早期検知ならびに適切な避難等をより一層推進する必要がある。

担当者の声

雷の被害防止は現代社会に対する大きな貢献になる



- 情報化社会において雷による異常電圧によりネットワークに接続されている機器が被害を受ける事例が増えています。情報通信という社会インフラを守るために、雷被害を軽減させる事業を推進していきます。
- 学校やスポーツ大会等での雷事故の防止に貢献することを通じて、社会貢献することを目指しています。また、本製品の雷データを継続的に記録し、今後の製品に役立てるようにしています。

問合せ先

株式会社株式会社日辰電機製作所 法人番号:3030001027193 TEL 04-2934-4151 FAX 04-2934-4155 E-Mail support2@nisshin-electric.com